

マイコプラズマ気管支炎

- ①「肺炎マイコプラズマ」という細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症です。約80%は14歳以下ですが、幼児、学童期、青年期を中心に全年齢で1年を通して報告があります。
- ②潜伏期間は2～3週間と比較的長いです。発熱、全身倦怠感、頭痛などの初発症状が現れた3～5日後に乾性の咳がみられます。
- ③咳は経過に従って徐々に増強し、解熱後も3～4週間程度続きます。重症化することや、無菌性髄膜炎、脳炎などの中枢神経系症状、中耳炎などの合併症がみられることもあります。
- ④治療には、マクロライド系の抗生剤を使用します。
- ⑤長引くしつこい咳がみられた場合は、医療機関を受診しましょう。
- ⑥感染経路はかぜやインフルエンザと同じですので、普段から、手洗いをするのが大切です。また、患者の咳から感染しますので、咳の症状がある場合には、マスクを着用するなど咳エチケットを守ってください。
- ⑦目黒区の保育園・学校では診断がついて、発熱や特有の咳が軽快するまで登園・登校を控えることになっています。